

# 潜在能力の組織的発揮

～『働く人の喜び』を中心に据えた経営を目指す～

特別講師: **杉本 守孝氏** (社)日本能率協会 理事 経営研究所 所長

日本能率協会(JMA)は、2009年3月の経営革新提言 発表会で「潜在能力の組織的発揮 ～困難に挑み続けて発現する人と組織の力～」を発表した。提言は、脳科学者、医学者、人類学者、経営者、心理学者らによる研究をもとにまとめられたもので、企業経営とは単なる経済行為ではなく、その根幹には人を育てる文化があったとし、人間の心理を踏まえたマネジメントが大切と指摘。企業のマネジメントには「協働作業」や「コミュニケーション」といった他者とのかかわり、報酬などの外発的動機付けではなく自発性や好奇心といった「内発的動機付け」が重要であるとしている。提言でもふれられている人類学者長谷川真理子氏(総合研究大学院大学教授)の研究も興味深い。類人猿が絶滅しそうな傍ら人が繁栄している要因は「三項関係の理解」「動作模倣」「言語表現力」という3つの脳の機能が備わっているからとか。「三項関係」とは、「自分と誰かと何かのものの3つの間の関係の中で、人はお互いに見ているものを察して頷きあい、一緒になって持ち上げるなどの協働作業に移すことができる」のだという。つまり協働作業は人の存在に深く関わる重要なキーワードの一つ。杉本所長にはこれらの関連研究も踏まえ、世界同時不況真ただ中、企業や社会が困難に立ち向かう上で必須とされる「潜在能力の組織的な発揮」についてご講演いただきます。

## ■主な内容

1. 提言にあたっての問題意識
2. 潜在能力の組織的発揮とは
3. 提言『働く人の喜び』を中心に据えた経営を目指す
  - ・『働く人の喜び』を重視するマネジメントを志向する
  - ・集団の力を見直して束ねる
  - ・困難に挑み続けることによって、人は自ら育つ
4. 潜在能力を引き出す実践論提言『働く人の喜び』を中心に据えた経営を目指す

※参加各社に講師の著作「隠れた力を引き出す会社」を各1冊づつお渡しいたします。

講師: **杉本 守孝氏**(すぎもと もりたか)

社団法人日本能率協会 理事 経営研究所長  
早稲田大学商学部卒業後、同大学院商学研究科博士前期課程修了。1983年に日本能率協会に入職後、主に企業内人材育成事業の開発、普及に従事し、2007年より経営研究所長に就任し、日本企業の経営課題実態調査や経営革新提言活動を主宰する。日本学術振興会 産業協力委員会委員、経済産業省 産業人材育成ワークショップ委員会委員。  
東京工業大学大学院 社会理工学研究科非常勤講師。  
「これからの経営管理とプロフェッショナルの育成」(2009年前期全学科学部共通科目講義)  
「隠れた力を引き出す会社」(編著、日本能率協会マネジメントセンター)、「日本企業の経営課題2008」(編著、日本能率協会)を出版。

## ▶実施要項

日時	2009年6月11日(木) 15:30 受付・開場 16:00-17:00 事業計画説明会 17:10-18:30 特別講演会 18:40-20:30 交流会
参加要件	対象: AVCC賛助会員/霞が関ナレッジスクエア協賛メンバー/セミナー関係者等 <b>会費:無料</b> 人数:各会員機関 2名まで(交流会含む)
定員/会場	60名/ 事業計画説明会&特別講演会(スタジオ) 交流会(エキスパート倶楽部)
申込方法	所定の申込用紙にてFAXでお申込みください
締切	5月29日(金)(但し定員に達し次第、締切らせていただきます)

## 開催場所



霞が関ナレッジスクエア

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-1

霞が関コモンゲート ショップ&レストラン西館3階

- ・銀座線「虎ノ門駅」11番出口より徒歩1分
- ・丸の内線/千代田線/日比谷線「霞が関駅」A13番出口より徒歩6分
- ・丸の内線「国会議事堂前駅」4番出口より徒歩6分
- ・銀座線/南北線「溜池山王駅」8番出口より徒歩7分

問合せ先

AVCC賛助会 & 霞が関ナレッジスクエア

事務局担当 丸山・河合・秋葉・吉田

電話:03-3239-1121(代表) FAX:03-5157-9225